



関川村

第141号

令和7年(2025)

11月15日発行

議会だより



いくつ釣れるかな

～ なないろ保育園 秋祭り ～

- 会議報告 2 ページ
- 決算審査特別委員会 4 ページ
- 一般質問 4 名登壇 6 ページ
- 議員活動報告 8 ページ
- 広報広聴会 10 ページ
- 村民の声 須貝祐介^{す がい ゆうすけ}さん 12 ページ



村のホームページでもご覧になれます。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 小澤 仁
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

会議報告

臨時会議と9月定例会議の内容を抜粋して報告いたします。

臨時会議

7月29日開催

議案1件について審議

■一般会計補正予算

170万円追加

○ツキノワグマ等危険鳥獣対応備品購入費

59万円

菅原修 備品購入費の詳細は。

農林課長 熊スプレーのほか、防護服3着、防護盾6

個、防刃手袋3双、プロテクター4着、アクションカメラを購入。



購入品

定例会議

9月11日開催

■一般会計補正予算

700万円追加

○かんすい用機械等整備対策補助金

100万円

◇渇水対策に対する補助

平田広 補助金の開始時期は。

は。

農林課長 7月1日から9月30日まで。

臨時会議

8月4日開催

各委員の選任と推薦について審議

■常任委員・議会運営委員・各種委員の選任

◇新たに構成された議会人事で活動。

■村道七ヶ谷郷2号線の変更

◇大石ダムから東俣彫刻公園の先(総延長2958m)を東俣植物園の手前(総延長1178m)にするもの。

鈴木紀夫 机差岳登山道に通じる道なので、ゲートを

手前に移設ではなく、今まで通りの場所にできないか。

村長 ゲートはそのままでも良いと考えている。所管に要望する。



ゲート

■村道川北郷58号線の変更

◇松平畜産団地内にかかる村道を総延長382mから総延長161mにするもの。

鈴木紀夫 太陽光パネルで道路を塞ぐということか。

脱炭素推進室長 道路にケールを埋設するにあたり、要件を満たすために村道変更の上、道路上に太陽光パネルを設置する。



松平畜産団地

※専決処分

本来は、議会の議決を必要とする案件を緊急な事情がある場合に、議会の議決に代わって首長(村長)が意思決定すること。

農林課長 用水路への影響が大きい事と災害査定のための測量をしなければならなかったことが理由。

議員表決結果報告

区分		件名	小澤仁	加藤つや子	川崎哲也	近敬志	近壽太郎	加藤和泰	高橋正之	菅原修	平田広	鈴木紀夫	結果
臨時	議案	一般会計補正予算（第3号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9月定例会議	報告	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	報告	専決処分の報告について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定	関川村各会計の決算認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定	関川村下水道会計の決算認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定	関川村簡易水道会計の決算認定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案	選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川村職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	下越福祉行政組合規約の変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	村道路線の廃止について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	村道路線の変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	村道路線の変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	村道路線の変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	一般会計補正予算（第5号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発委案	関川村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請願	「村内における、不適切な生活環境を改善する委員会の設置を求める意見書」の採択を求める請願	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	陳情	「私立高校の学費負担軽減と専任教員増促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

○ 賛成 × 反対 — 議案が議員本人に関する場合や議長は採決に参加できません。

令和 6 年度決算審査特別委員会

令和 6 年度決算審査特別委員会が 9 月 11 日、12 日、16 日の 3 日間、開催され、26 日定例会議の最終日、付託された議件は原案の通り認定されました。

委員長：川崎哲也 副委員長：近敬志

※決算審査特別委員会…その年度の予算が適正かつ効果的・効率的に執行されたかなどを審査し、議会の認定を行うために設置されます。

歳出

総務費

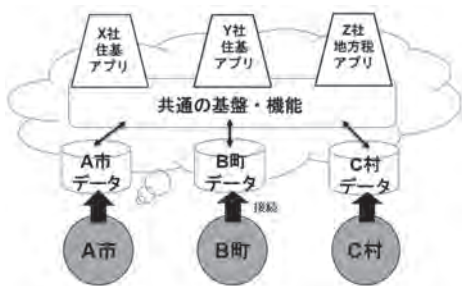
14 億 3280 万円

鈴木紀夫

ガバメントクラウドシステム※は業務改善につながっているか。またシステム使用料の今後の見通しは。

総務課長

システム運用はまだこれからであり、使用料は今後上がると思われる。



ガバメントクラウドシステム

※業務の効率化、コスト削減を図るため、行政システムを共通化・標準化し、

国と地方自治体が共通で利用する基盤

近寿太郎

情報システム保守管理委託料が当初予算の半額となっているがその理由は。

総務課長

年間経費を計上していたが、年度途中でクラウドシステムに移行したことによるもの。

菅原修

消防団の積載車搭載無線機は、演習時に機能しなかったものもある。

総務班長

無線機の不具合ではなく、チャンネル設定の問題との報告だった。



消防用無線

鈴木紀夫

空き家バンク登録およびリフォーム補助事業の実績は。

地域振興班長

11 件の登録があり、5 件の成約。リフォームは 3 件実施した。



リフォーム事業の活用例

川崎哲也

役場庁舎情報通信システムの工事によって庁舎 3 階も Wi-Fi が入る計画ではなかったか。

地域政策課長

アクセスポイント (Wi-Fi) の電波を送受信する機器

と LAN ケーブルの取替工事であった。3 階は現在も Wi-Fi は入らない。機器は元々業務用ではなく、観光客向けに設置したもの。

鈴木紀夫

ふるさと納税収入のうち、返礼品や事務作業などの経費や、職員の業務負担はどれくらいか。

地域政策課長

経費は寄付額の 5 割以内に収める必要があり、村の負担額は 48%。返礼品発送等の業務は委託している。



ふるさと納税返礼品

加藤和泰

起業支援補助金で起業した事業について、伴走支援は行っているか。

地域政策課長

補助申請の段階から商工会に協力してもらい、起業後も事業をフォローしてもらっている。

脱炭素推進事業費

高橋正之

脱炭素事業の工事費が当初予算とかなり違いがあるがその理由は。

脱炭素推進室長

令和5年度に実施設計した省エネ改修工事を再設計し、不足が生じたため。不足分を補正予算で計上し、6年度に工事を実施した。

鈴木紀夫

バイオマス発電はどうなっているか。

脱炭素推進室長

物価高、円安などにより事業採算が合わない。発電システムの変更など事業計画の見直しを行っている。



バイオマス発電施設設置予定地

民生費

10億1325万円

近寿太郎

介護サービス事業が重層的支援体制整備事業に移行したが、事業費用に変更はないか。

保健福祉課長

大きな変更はない。

平田広

介護職員の最低賃金も上がっている。業務委託料の増額は考えているか。

健康福祉課長

村の財政事情も考慮し業者と話し合っていく。

鈴木紀夫

保育園児の数が減っている中で、職員の人件費は適正だったか。

健康福祉課長

任用職員は減っているが、未満児が多いため職員は減らせない。

農林水産業費

3億2418万円

鈴木紀夫

有害鳥獣駆除対策事業で、狩猟免許取得にかかる経費の補助件数は。

農林課長

新規の免許取得に対する補助はなかった。

教育費

3億4461万円

加藤和泰

クラブ活動の地域移行はスムーズに行われたか。

教育課長

大きな問題もなく移行できた。地域クラブは指導者16名、中学校教員1名で運営している。



地域のクラブ活動の様子

特別会計

簡易水道事業特別会計

1億3280万円

議員

使用料収入が減っているが、収支改善のための対策は。

建設課長

有収率を上げるための漏水調査があるが、費用対効果は高くない。今年度から水道料金の値上げをさせてもらう。



配水池増設に伴う配管工事

村の農業を守る政策は

村 長

今後の国の農政改革を注視し見極めたい

問

集落支援員制度

国の制度である集落

村長 ①長年低迷してきた米価、高騰は農業経営を安定させる好材料と期待②直接支払い交付金事業などへの取り組みやドローン防除により作業負担軽減で離農者抑制に努めている。圃場整備も進めていきたい③新たに草刈り作業への補助制度を設ける考えはない。

問

①日本のコメを取り巻く環境変化をどう考えるか②基幹産業の稲作を守る政策は③津南町の畦畔管理支援事業（非担い手に委託した草刈り労務費を補助）のような独自支援策の考えは。



ひらた ひろし 議員



村長 具体的に点数をつけることは難しい。村民の皆様から負託を頂けるなら、次期4年で残りの施策や事業を前に進め村政の総仕上げをしたい。

問

2期8年の村政を自己検証した場合、何点くらいか。また、3期目の出馬は。

加藤村政

支援員を増員し村の活性化に繋げられないか。
村長 当村には大変メリツトのある制度。集落やコミュニティなどでのこの制度をご理解の上、活用願いたい。

有害鳥獣対策は

村 長

関係機関と連携し対応する

問

今年も山の木の実が不作のためクマの出没が多発している。過去に起きた下関の事故の二の舞にならぬよう、村民の安心安全のためにもパトロールの強化が必要だ。村長の考えは。

村長 大変心配している。しかしクマの行動を考えると、移動するスピード

問

電気柵をしているにもかかわらず、サルやイノシシが田畑を荒らしている。パトロールの強化が必要と考えるが、村長の考えは。



たかはし まさゆき 高橋正之 議員



10月22日 鮎谷地区

が速いので、常時パトロールすることは現実的ではない。民家の近くで目撃情報があれば、警察と連携しパトロールを実施している。
問 ジビエの解体処理場については何年か議論を重ねてきたが、場所などのめどはついたのか。
農林課長 場所や施設などを含めてまだ検討段階だ。ただ、個体の移動の関係で、半径十キロ以内という縛りがある。効率的に施設運営するためには、各捕獲地と処理場がバランスよく配置できる立地はどこか協議中。

ゴミ屋敷問題の対策を

村 長

案件ごとに必要な対策をしていく



かわさきてつや
川崎哲也 議員

問 現在の村の対応は。
村長 村が把握している案件については、地域住民を交え、当事者に片付けを促している。
問 村に情報提供されていないゴミ屋敷もある。
住民が相談できる窓口は村にあるのか。
住民税務課長 相談窓口はないが、もし相談があれば役場住民環境班で話を聞く。
問 ゴミ屋敷は全国的に問題だが、行政の介入が難しいと聞く。国に法整備などを要望できないか。
村長 問題の原因は様々で解決方法も個々に違う。国が方向性を示すのは難しい。

問 地域作りと景観美化の取り組みの中で問題の解決した事例がある。村でも取り組みはないか。
村長 そう言った機運が住民の方で高まれば、村も一緒に考えたい。
獣害対策
問 クマ等出没時の対応に関して、関係者間で連携体制は整っているか。
村長 緊急銃猟制度の施行により、村の対応指針も改定した。その指針を関係機関と共有し、話し合いを進める。
問 村内で地域ぐるみで獣害対策に取り組む集落がある。村の支援は。
農林課長 取り組みの中で課題等があると思う。その解決に村も携わっていく。



猿のパトロール中

森林環境譲与税の有効活用を問う

村 長

限りある財源を有効に活用していく



かとうつやこ
加藤つや子 議員

問 地域の防災や観光資源としての活用や効果は。
村長 森林環境譲与税は、森林整備およびその促進に関する費用として使用する目的税。これまで、森林経営意向調査や林政アドバイザーの活用、学びの森づくり等で活用してきた。しかし、この税を使い令和4年8月の豪雨災害で被災した作業道の復興、観光資源としてオリパラレガシー材のベンチ等を道の駅に設置した。
問 事業の配分基準はあるのか。
村長 基準は設けていない。予算編成時に、関係団体より事業計画のヒアリングを行い決定する。

問 地域活性化の取組支
援として、具体的な活用は。
村長 税の使用目的を逸脱しない範囲で、地域活性化につながる取組みがあれば、使途対象になり得るので有効に活用していきたい。
問 他県では、この税を使い地域活性化に役立つ「木のおもちゃ美術館」を作って「子どもの木育、木工体験、ふるさと体験」に活かしている。インバウンド対策としても村の木材を有効的に使う考えはあるか。
村長 「地域資源を活かした村づくり」をしたい。村の木材、木の文化とか様々な面で村政の発展に利用してゆきたい。



村材ツリーハウス

議員活動報告

阿賀町議会インター ネット中継を視察!!

議会改革を進める一歩

8月26日に阿賀町議会の「インターネット中継システム」を視察。近隣町村で先進的に進めてきた阿賀町

議会では、議会の可視化を目的に、令和5年の6月定例会議から議会中継を開始。現在は、本会議、予算委員会および決算委員会もライブ中継をしている。この視

察を経て開かれた議会を指す当議会も、一歩前進です。



脱炭素特別委員会

令和7年度の進捗状況

9月26日、関川村&せきかわふるさとエネルギー㈱における脱炭素推進事業の進捗状況報告を受ける。

○関川村実施事業

「公共施設省エネ工事状況」

- ① 関川村役場庁舎
- ② 桂の関温泉ゆくむ
- ③ せきかわふれあいどくむ
- ④ せきかわ歴史とみちの館
- ⑤ 関川診療所
保健センター
- ⑥ 高齢者生活福祉センター
ゆうあい

左記の施設における照明(LED化)工事。関川村役場庁舎と関川診療所・保健センターでは高効率空調工事も実施中。

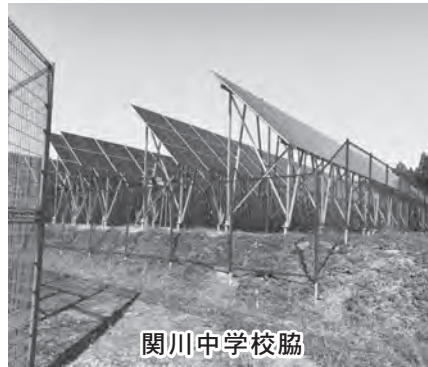
○せきかわふるさとエネルギー実施事業

「太陽光発電設備工事」

- ① 関川中学校
- ② せきかわ浄化センター
- その他の発電事業

令和7年度以降に実施予定で調整している事業は、次の通りです。

「木質バイオマス発電事業」
「民間事業所・戸建て住宅向け太陽光発電設備」
「地熱バイナリー発電」



関川中学校協

○協定の締結状況

- ① 千葉県匝瑳市
- ② SDグリーンエナジー㈱
- ③ ㈱アドヴァンス
- ④ ㈱エコロミ・㈱イートラスト
- ⑤ 有オンウエーブ
- ⑥ ㈱NTTドコモ・㈱NTTコミュニケーションズ

- ⑦ ㈱エイテクス
 - ⑧ 東急不動産㈱
 - ⑨ 陸前高田市・陸前高田しみんエネルギー㈱
- ※協定内容は省略

JR米坂線復旧期成 同盟会総会の開催

(8/26)

令和7年度総会

令和6年度の事業報告と決算報告・令和7年度の事業計画と予算書について審議され、原案は全て可決しました。今後は活動の活性化を図り、国、県、JR東日本への陳情を進めていく予定です。



米坂線復活絆まつり



小国町議会交流会視察



岩船東部線視察





議会運営委員長
近 壽太郎



副議長
鈴木紀夫



議長
小澤 仁

常任委員 改選 各委員の紹介

任期 令和7年8月1日～令和9年7月31日

総 務 厚 生 常 任 委 員

委員の役割

- ① 村財政に関する事務
- ② 文教に関する事務
- ③ 社会厚生に関する事務
- ④ 他の委員会に属さない事務



産 業 建 設 常 任 委 員

委員の役割

- ① 農林水産に関する事務
- ② 商工振興に関する事務
- ③ 観光に関する事務
- ④ 土木建設に関する事務
- ⑤ 簡易水道に関する事務
- ⑥ 下水道に関する事務



議 会 広 報 常 任 委 員

委員の役割

- ① 議会の広報・広聴に関すること



米沢街道地域づくり 検討会と広聴会を開催



10月1日に渡邊邸にて米沢街道地域づくり検討会との広聴会を開催しました。

1. どんな会なの？

同検討会は、平成22年に「米沢街道の歴史と文化遺産を活かしたまちづくり」を目的として設立されました。

2. どんな活動をしているの？（主な活動を抜粋）

- 「道の駅関川」沿いの花壇づくり
- 渡邊邸外堀沿いでの花壇整備
- 渡邊邸外堀への錦鯉の放流
- お野立公園周辺の環境整備
- 荒川峡芍薬園の植栽・管理



3. 課題と今後の方向は？（主な意見を抜粋）

- 「長期的な視野で」「活動を強制しない・されない」「行政との連携」を図る
- お野立公園とその一帯を将来は「花見山」のような美しい場所にしたい
- 県の補助はあるが幅広い活動であり資金の問題がある
- 村民の積極的な活動に対して行政の積極的な関わりをもってほしい

短い時間でしたが、様々な意見をいただきました。
村議会議員も行政に対して環境づくりを提言し、新たな地域づくりの組織が誕生しやすい環境づくりに努めてまいります。



議会モニター『アンケート』

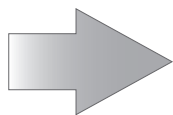
開かれた議会を
目指しています

令和7年9月定例会議アンケート

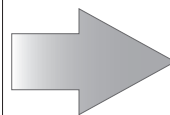
(主な意見を抜粋)

1. 興味ある一般質問は？

- ゴミ屋敷対策
- 有害鳥獣対策
- 集落支援員制度



「住民の身近な問題」
「村民の生命危機の問題」
「駆除対策と人手の確保」
「空き家も増えてきた」



具体的な
対策と
対応を！

2. 議会全般・要望等

- 村民の意見を幅広く吸い上げて欲しい
- JR復旧をもっと進めて欲しい
- 行政側の「検討する」を実現に向けて追及して欲しい

議会だより第140号アンケート (主な意見を抜粋)

1. 表紙の写真

- 村の子ども達の表情が良く撮れている

2. 関心のあった記事

- 会議報告、一般質問、議員活動報告、村民の声

3. 全体を通しての感想

- 通年会期制（通年議会）メリットを記事にしたら良い
- 一般質問の深掘りを期待する

～ モニターの皆さま、ご意見ありがとうございました ～

表紙の小話

恒例の秋祭り

10月2日、関川なないろ保育園で秋祭りが行われ、おそろいのはつぴを着て「ヨーヨー釣り」「輪投げ」「的あて」で大興奮。また、関川中学校から生徒さんのお手伝いもあり、大いに盛り上がりました。



村民の声

ハンター（猟友会）

す がい ゆう すけ
須 貝 祐 介 さん
(荒川台)



近年、有害鳥獣による被害がニュースになっておりますが、関川村でも被害の声を多く耳にします。以前は猿（サル）による作物への被害や川鵜（カワウ）による鮎などの川魚大量捕食が主となっていました。地球環境の変化とともに鹿（ニホンジカ）や猪（イノシシ）の個体数増加による森林や田畑への被害も増加しています。

その影響もあり、ハンター（猟友会）は有害鳥獣の駆除という社会的な役割のイメージが強くなってきました。狩猟、標的射撃など趣の面も多々あります。

狩猟は、鳥獣保護管理法で定められた猟具（網、なわ、装薬銃、空気銃など）を用いて、指定された猟期内に狩猟対象の鳥獣を捕獲することになります。猟具があれば簡単に捕獲できるわけではありません。狩猟は野

生鳥獣との究極の知恵比べとも言われており、生態や習性を理解し、自然を相手に知恵を絞り、試行錯誤しながら追い詰めて捕獲した際は大きな達成感があります。当然、野生の感性には勝てないことも多々あり、逃がした魚は大きかったと経験を重ねることもあります。ちなみに狩猟するためには、「狩猟免許の取得」（筆記・適正・技能試験）↓狩猟したい都道府県での「狩猟者登録」↓猟銃での狩猟の場合は「銃砲所持許可」（網、わなは不要）↓「狩猟者登録」という免許及び許可を得なければいけません。現在は取得費用の補助金制度がありますので、自己負担は大きくありません。

標的射撃についてはクレイ射撃というものが、数種類の競技がありますが、射台から飛んでくるクレイと呼ばれる陶器製の円盤状の皿を打ち落とすスポーツ競技です。狩猟の練習や猟銃の技能講習としても行いますが、猟友会での大会、支部大会、県大会や全日本オリンピックと年齢に関係なく出来る生涯スポーツの一つです。

こちらは「銃砲所持許可」と「散弾銃」が必要になりますが、狩猟免許の必要はありません。

ハンター（猟友会）の一部を紹介させていた、だましたが、農林水産業や自然環境への役割、狩猟により捕獲したジビエの活用など、活動内容は多岐にわたりますが、野生鳥獣の捕獲ができるのは狩猟者だけであり、狩猟は単なる捕獲や殺生ではありません。

関川村の自然豊かな環境を生かした狩猟をやってみたい方、農作物を有害鳥獣から守りたい方など、興味がある方は、役場農林課まで是非。

最後になりますが、新潟県の猪（イノシシ）は大体50kgが標準ですが、関川産は70kg～100kgが大半です。環境が良いのでしょうか、一瞬クマと見間違えます。

編集後記

日本初の女性総裁、女性総理大臣。物価高騰が続く中、これから私たちの生活や環境が、早期に豊かになることを期待したい。

不安なご時世ではあるが、村の若者たちがイベントで「カラオケやバル（※）」などを開催し村を盛り上げている。持続可能な村づくりに必要な「元氣」が伝わってくる。この波動を感じつつ「キラリと光る村人」になるぞ。（つ）

※「バル」屋外で気軽に飲食を楽しむ、交流できる場

議会広報常任委員会

委員長	加藤つや子
副委員長	近 敬志
委員	川崎 哲也
菅原 正之	
高橋 修	
平田 広	

お詫びと訂正

議会だより140号掲載記事に誤りがありました。6ページ記事内、川崎議員の一般質問2段目・右端から9行目、総務課長（誤り）↓地域政策課長（正しい）を訂正し、お詫びいたします。